

会議名称	平成24年度第3回平塚市スポーツ推進審議会
日時	平成24年(2012年)12月20日(木) 10時から11時48分まで
会場	平塚球場 会議室
委員数	15名
出席者 委員	11名 陶山正明、萩裕美子、菊地武良、田中國義、高梨孝治、伊藤公明、 藤田早苗、石塚重子、菌田稔、久野英範、柳田達男、小林裕子
出席者 事務局	5名 後藤社会教育部長、門田スポーツ課長、市川主管、渡部主任、大沢田主任

1 後藤社会教育部長あいさつ

2 陶山会長あいさつ

【事務局】

平塚市スポーツ推進審議会規則第4条に規定する定足数は委員定数15名に対し、本日の出席者11名で過半数を超えているため、会議が成立することを事務局から報告する。

4 議題

(1)「(仮称)平塚市スポーツ推進計画」について

【事務局】

資料に基づきスポーツ推進計画策定の流れについて説明

【議長】

ここまでのワーキング会議を経て、前回の審議会に出したもののから計画の構成も変わってきている。

ワーキング会議に参加されていない委員の方々からも活発な御意見をいただきたい。

【事務局】

基本目標について、御意見や御質問等あったらお聞きしたい。

【委員】

学校部活動について、本市の部活動入部率が全国平均と比べ低いとの記載がある。

委員の方に認識だけしていただきたいのだが、ソフトテニスであれば部活動があるが、硬式テニスは部活動が無いので、硬式テニスに取り組みたい生徒は地域のクラブで活動している。スポーツは学校だけではなく、地域でも取り組めるものなので、部活動入部率が低いからといってそれを上げていかなくてはいけない等考え方は少し違うと思う。

【事務局】

地域のチームが増えているから入部率が下がっているのか、または学校の部活動が減っているから入部率が下がっているのか。

【委員】

生徒数が減っていることが影響し、部活動数をコントロールしている。部活動数を増やすことで例えば野球部に9人集まらないといったことも起こってくる。そうになると活動できない部活動も出てきてしまう。今ある既存の部活動の活性化を図っている。

【議長】

ウィンタースポーツなど地域性などの理由で、部活動に組み込まれないスポーツもあると思う。

【委員】

質問なのだが、スポーツに取り組む上での安全確保について何も謳われていないが、問題ないのか。

【議長】

イベントを行う場合、主催団体がスポーツ保険に入っていると思う。

市として行事を行う場合、どのような対応をしているのか。

【事務局】

市主催の大会等で怪我をされた方には市の「市民活動災害補償制度」を適用している。万が一怪我をされた場合には、市に申請書を出していただいた上で、保険金を支払っている。

また、問い合わせがあった時は、県で行っているスポーツ安全保険の紹介をしている。

【委員】

何年前から「市民活動災害補償制度」の対象がスポーツ団体の指導者のみに狭まっ

てしまった。

【委員】

イベントを行う上で安全の確保は重要だと思う。

【事務局】

制度の存在自体を知らない人も多いと思うので、周知を行うことは重要だと思う。計画の中で項目「情報提供の充実」に含めていくことも検討する必要があるかもしれない。

【議長】

財団が行っている教室参加者は「市民活動災害補償制度」の対象とならないのか。

【事務局】

財団は自主的に別の保険に加入している。

【議長】

ベルマーレに関してはどうか。

【委員】

市の総合計画にベルマーレについて記載してある。また、推進計画においても、ベルマーレが基本的施策に出てくることで、我々もスポーツ振興のために努力する責務が生じてくる。

是非、このような形で位置付けていただければと思う。

【委員】

ベルマーレというとサッカーやフットサルのイメージが強く、その他の種目がなかなか知られていない。今後市民の皆さんへの周知をより行っていく必要があると思う。

【議長】

他に質問が無ければ具体的施策の確認に進みたいと思う。

【委員】

その前に確認したいのだが、今回の資料では推進計画の基本目標からサブタイトルが消えている。そのような形で良いのか。

【事務局】

先日のワーキング会議で出た意見を踏まえ、今回お示しした資料では、以前あったサブタイトルを削除した。

【議長】

サブタイトルを入れた方が分かりやすいという考え方もある。副会長からも意見を伺いたい。

【副会長】

サブタイトルを入れることで基本目標、基本的施策、具体的施策の関係が分かりやすくなるなら入れても良いと思う。入れるかどうかはワーキング会議で検討していけばよいと思う。

【事務局】

もしよろしければ、この席で基本目標にサブタイトルを入れるか、入れないか方向性だけでも決めていただけないか。

市民の目線で公募委員の方から意見を伺いたい。

【委員】

サブタイトルが無くても問題ないと思う。インパクトが強いサブタイトルならあっても良いが、インパクトが無ければあってもあまり意味がないと思う。

【副会長】

論文を書く場合はサブタイトルを設けない。大まかな目標から市民に「これは何だろう」と興味を持ってもらって基本的施策、具体的施策を見て「なるほど」と理解してもらうのも良いと思う。あまりごちゃごちゃ並べると焦点がぼやけてしまうので、良くないかと思う。

【事務局】

今ここで方向性を決めるのは難しそうなので、ワーキング会議で検討させていただきたい。

【議長】

ワーキング会議で検討し、次回の審議会で報告させていただきたい。

【事務局】

御自宅でもう一度資料を見直して、御意見等ありましたら事務局まで御連絡いただければと思う。続いて具体的施策について説明させていただきたい。

【事務局】

資料に基づき具体的施策について説明

【委員】

子どものスポーツの基本的施策について、民生委員が子育て支援事業を行っていると言っているのだから、情報の1つとして耳に入れて頂ければと思う。

【議長】

色々な課の事業が具体的施策に含まれている。それぞれの課の役割分担が重要になってくると考える。

【社会教育部長】

確かに役割分担は重要となってくる。事業によっては他課が中心となってくるものもあると思う。また、行政だけではなく地域が中心となるものも出てくると思う。

【議長】

他に御意見があれば伺いたい。

【事務局】

こちらから委員の方に質問させていただきたい。「高齢者のスポーツ機会の充実」の具体的施策を5つ挙げているが、この他に何か追加したいものはあるか。

【委員】

ウォーキングを色々なところでやっている。また、ベルマーレの方を呼んで教室を行っているのだから、そういったものを位置付けるのも良いのではないか。

【議長】

大学交流事業で子どもたちが大学の方からスポーツに関する指導を受けていると思うが、そういったものは推進計画のどこに位置付けられるのか。

【事務局】

具体的施策ではなく、個別事業として位置付けることになると思う。

話は変わるが、ベルマーレさんがコンディショニングセンターを運営しているが、具体的にどういったことに力を入れて今後運営していきたいのかお聞きしたい。

【委員】

怪我をしない体づくりに力を入れている。例えばぎっくり腰を防ぐためのメニューを提供できる。また、夏場には熱中症の予防対策についての指導も行える。その他に学校部活動への協力も行っている。

【委員】

在宅でできるようなラジオ体操などを推進していくことも重要ではないか。家から出られないが、スポーツに興味がある人は少なからずいると思う。

【事務局】

私からお聞きしたいのだが、県立高校として子どもたちのスポーツ活動を推進するためにできることがあれば教えていただきたい。

【委員】

大学との連携という点で、東海大学の学生を活用している。生涯スポーツの参加促進という面では、養護学校で行われているスポーツ大会の支援を高浜高校の学生が行っている。

また、基本目標についてだが市民に分かりやすくするためにそれぞれの基本目標に「楽しむ」、「つなぐ」、「深める」、「広げる」といったフレーズを振るのも良いと思う。

【議長】

本日はここまでで審議を終了したい。次回の審議会では、第4回～6回のワーキングでの結果を報告させていただきたい。

(2) その他

特になし

5 閉会